# 南魚沼市地域包括ケア連絡協議会活動のこれまでの経過

| | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **経緯** | | ・南魚沼市地域包括ケア連絡協議会を立ち上げた。<br>・六日町、塩沢、大和の3地域包括支援センターそれぞれでワーキングチーム活動実施 | | ・各包括によるワーキングは平成29年度で終了。日常業務である、いわゆる地域づくり活動として各包括で継続して行くこととした。 | | |
| **市民フォーラム** | | 住み慣れた地域で安心して最後まで暮らし続けるために「ご飯が食べられなくなったらどうしますか」花戸貴史医師　7/31　市民会館　237人参加 | 地域医療研究会全国大会2017in魚沼（9/16・17・18）に市が共催。市民向け公開シンポジウム・講演会各種実施。 | 「家族に介護が必要になったら…住みたいところで自分らしく生きる、自分らしく逝く」ケアマネ、医師、看護師、福祉用具担当者等から話を聞く　11/11（日）ふれ愛支援センター50人参加 | 「家族に介護が必要になったら…住みたいところで自分らしく生きる、自分らしく逝く」ケアマネ、医師、看護師、福祉用具担当者等から話を聞く　11/30　塩沢公民館　68人参加 | 新型コロナウイルスの影響で実施せず |
| **在宅医療連携療養資源マップ** | | 市ウェブサイト上に作成、年1回更新 | 市ウェブサイト上に作成、年1回更新 | 市ウェブサイト上に作成、年1回更新 | 市ウェブサイト上に作成、年1回更新 | 市ウェブサイト上に作成、年1回更新 |
| **市ウェブサイト・広報** | | | | | | 市報みなみうおぬま3月号で「地域包括ケアに向けての取り組み」特集記事掲載 |
| **ワーキング・地域活動（地域包括支援センターが取り組んでいる地域活動のうち代表的な取り組み）** | 六日町地域包括支援センター | ・「あなたとあなたの家族の介護を考える」をテーマに地域フォーラム実施<br>・畦地地域で認知症あんしん地域ネットワークづくり事業 | ・坂戸地区を対象に地域の課題を住民と話し合い「暮らしやすい坂戸地区を考える会」 | ・「暮らしやすい坂戸地区を考える会」 | ・「暮らしやすい坂戸地区を考える会」危険個所所のマップづくりに取り組むことを検討<br>・小規模多機能型居宅介護事業所と共に認知症SOS訓練<br>・新潟県、湯沢町、JR東日本との認知症SOS広域訓練に参加 | ・「暮らしやすい坂戸地区を考える会」マップづくり。年度後半は新型コロナで中止。<br>・五十沢地域で認知症あんしん地域ネットワークづくり事業 |
| | 大和地域包括支援センター | ・「大和地域の健康と介護を考える会」を地域で開催 | ・大崎地域づくり協議会と協働し介護事業所を知る地域研修 | ・大崎地域づくり協議会と共催による研修会の開催「認知症高齢者の行方不明の状況について」<br>・通所介護事業所との認知症SOS訓練 | ・大崎地域づくり協議会との勉強会検討 | ・大崎地域づくり協議会との検討等は新型コロナの影響で見合わせ |
| | 塩沢地域包括支援センター | ・「医療介護関係者と地域の課題や資源情報について共有」し次年度活動を検討した | ・中・目来田地区にて塩沢地域づくり協議会とワーキングメンバーとで認知症対策の継続的取組を実施 | ・地域で認知症対策の講座等<br>・介護支援専門員と地域資源等について検討 | ・介護支援専門員と民生委員との顔の見える連携 | ・介護支援専門員と民生委員との顔の見える連携 |
| **多職種研修会** | | ・「南魚沼市の地域包括ケアシステムについて考える」ワキング活動報告、市民フォーラム報告、グループワーク　本庁舎　58人参加 | ・「生活を分断しない在宅連携と地域づくり」～元気高齢者の育成支援～　櫃本 真聿医師　11/11　ふれ愛支援センター　61人参加 | ・在宅医療～医師から伝えたいこと～地域の医師会在宅医療推進委員会メンバーの医師が、在宅医療介護に関わる多職種に思いを語る3/23　市民病院　99人参加 | ・地域包括ケアの仲間たち（その1）在宅医療にかかわる専門職4人（薬剤師、栄養士、ヘルパー、歯科衛生士）から取り組み内容を学ぶ　2/22　ふれあい支援センター47人参加 | ・在宅医療推進センターと協働で月一セミナーをオンラインで6回実施　延べ149人参加 |
| **医療介護連携共通シート作成ワーキング** | | | | | 医療介護連携共通シート「医療介護相談・連絡票」作成ワーキング開始 | 医療介護連携共通シート「医療介護相談・連絡票」作成ワーキング、試験運用 |